

2015年度リハビリテーション（以下リハビリ）室は、「適応と再編～Adaptation and Reorganization」をスローガンとした。急速に進む高齢化、地域包括ケアシステムの構築など、リハビリ医療を取り巻く環境は大きく変わってきており、当院リハビリ室においてもこのような変化に対する「適応」と「再編」が望まれる。医療事業のみならず、介護福祉事業も視野に、現行リハビリサービスの強化および新規事業の検討を行った。

## 【リハビリテーション実施体制】

専任医：4名（回復期リハビリ病棟専従医1名）  
理学療法士：19名 作業療法士：19名 言語聴覚士：6名  
計：44名 ＊育児休暇者4名含む （2016年3月現在）

## 【医療事業（在宅復帰支援）】

### （1）2015年度リハビリ依頼状況

リハビリ依頼件数は、入院疾患別リハビリ等676件、摂食機能療法42件、外来リハビリ71件、計789件であった（表-1）。

（依頼件数の変化）

|         | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 入院疾患別リハ | 650    | 685    | 701    | 711    | 676    |
| 摂食機能療法  | 47     | 82     | 89     | 75     | 42     |
| 外来リハ    | 42     | 62     | 71     | 78     | 71     |
| 合計      | 739    | 829    | 861    | 864    | 789    |

（表-1）

### （2）患者属性

#### ①入院疾患別リハビリなど

男性290件、女性386件。平均年齢78.9歳（男性75.5歳・女性81.5歳）。

疾患別には運動器リハ252件、廃用167件、脳血管疾患150件が多かった（表-2）。

入院疾患別リハなど分類

|        | 運動  | 廃用  | 脳   | 呼吸 | がん | 消炎 |
|--------|-----|-----|-----|----|----|----|
| 2015年度 | 252 | 167 | 150 | 64 | 42 | 1  |
| 2014年度 | 275 | 142 | 167 | 81 | 43 | 3  |
| 2013年度 | 256 | 209 | 155 | 54 | 25 | 2  |
| 2012年度 | 250 | 201 | 166 | 58 | 10 | 0  |

（表-2）

#### ②摂食機能療法

男性28件、女性14件。平均年齢85.2歳（男性84.4歳・女性86.9歳）。

＊言語聴覚療法部門にて対応。

#### ③外来リハビリ

男性33件、女性38件。平均年齢62.8歳（男性60.7歳・女性64.6歳）。

外来疾患別リハなど分類

|        | 運動 | 脳 | 呼吸 | 心理検査 | 消炎 |
|--------|----|---|----|------|----|
| 2015年度 | 64 | 5 | 0  | 1    | 1  |
| 2014年度 | 68 | 5 | 0  | 1    | 3  |
| 2013年度 | 66 | 1 | 1  | 2    | 1  |
| 2012年度 | 55 | 0 | 4  | 2    | 1  |

（表-3）

### （3）アウトカム評価（在宅復帰率とFIM利得）

リハビリ診療の効果検証の一助として、2015年4月1日～2016年3月31日までに当院のリハビリを受けて退院した患者666名（男性285名・女性381名）、平均年齢79.4歳（男性76.4歳・女性80.6歳）の病棟（床）別在宅復帰率およびFIM利得について調査した。

#### ①病棟（床）別在宅復帰率とFIM利得

（在宅復帰率）

一般病床；退院者116名（男性61名・女性55名）

平均年齢80.3歳

| 復帰先 | 自 宅  | 居宅施設 | 老健施設 | 病 院  | 死 亡  | 終 了 | 合 計   |
|-----|------|------|------|------|------|-----|-------|
| 件 数 | 44   | 8    | 6    | 31   | 27   | 0   | 116   |
| %   | 37.9 | 6.9  | 5.2  | 26.7 | 23.3 | 0.0 | 100.0 |

（表-4）

地域包括ケア病床；退院者315名（男性129名・女性186名）

平均年齢79.6歳

| 復帰先 | 自 宅  | 居宅施設 | 老健施設 | 病 院  | 死 亡 | 終 了 | 合 計   |
|-----|------|------|------|------|-----|-----|-------|
| 件 数 | 218  | 28   | 18   | 32   | 18  | 1   | 315   |
| %   | 69.2 | 8.9  | 5.7  | 10.2 | 5.7 | 0.3 | 100.0 |

（表-5）

回復期病棟；退院者235名（男性95名・女性140名）

平均年齢78.2歳

| 復帰先 | 自 宅  | 居宅施設 | 老健施設 | 病 院 | 死 亡 | 終 了 | 合 計   |
|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-------|
| 件 数 | 188  | 20   | 17   | 10  | 0   | 0   | 235   |
| %   | 80.0 | 8.5  | 7.2  | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |

（表-6）

#### ②病棟（床）別FIM利得

|       | 入院時FIM | 退院時FIM | FIM利得 |
|-------|--------|--------|-------|
| 一般病床  | 57.8   | 63.0   | 5.2   |
| 地域包括  | 75.4   | 87.9   | 12.5  |
| 回復期リハ | 73.3   | 100.2  | 26.9  |

（表-7）

＊データ欠損5名

＊データ欠損12名

## 【介護・福祉事業（在宅生活継続支援）】

### 1. 訪問リハビリテーション（以下訪問リハ）

#### （1）訪問リハ実施体制

近年訪問リハのニーズは増大しており、依頼件数、実施件数ともに増加している。こうした状況に合わせ、作業療法士3.5名（専従者1名・兼務者3名）、理学療法士1名（兼務者2名）、言語聴覚士1名（兼務者1名）の体制をとった。

#### （訪問リハ提供体制）

|        | OT |     | PT |     | ST |      | 合計   |
|--------|----|-----|----|-----|----|------|------|
|        | 専従 | 兼務  | 専従 | 兼務  | 専従 | 兼務   |      |
| 2015年度 | 1  | 1.5 | 0  | 1   | 0  | 0.25 | 3.75 |
| 2014年度 | 1  | 1   | 0  | 1   | 0  | 0.25 | 3.25 |
| 2013年度 | 0  | 1   | 0  | 0.5 | 0  | 0.25 | 1.75 |
| 2012年度 | 0  | 0.5 | 0  | 1   | 0  | 0.25 | 1.75 |

（表-8）

#### （2）2015年度訪問リハの依頼状況と利用者属性

訪問リハ依頼件数66件。男性30件、女性36件。

平均年齢79.6歳（男性78.6歳・女性80.5歳）。

#### （訪問リハ依頼件数の変化）

|    | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 件数 | 30     | 29     | 44     | 60     | 66     |

（表-9）

#### （3）2015年度訪問リハの実施件数の推移

訪問リハの実施件数は、この5年間で約4倍に増加した。

#### 訪問リハ実施件数の推移

|    | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 件数 | 913    | 1,002  | 1,550  | 2,815  | 3,597  |

（表-10）

### 2. 介護予防・日常生活総合支援事業（筋力アップ教室）

介護予防事業は、2011年度より宇城市から委託を受け行ってきた。これまでの事業対象者は、一般および虚弱高齢者などであったが、宇城市では2015年度より介護予防・日常生活総合支援事業が実施され、その対象者が介護保険要支援認定者まで拡大された。

2015年度は、登録者数49名（男性15名・女性34名）、平均年齢80.8歳であった。その中で要支援認定者は16名であり、事業対象者の高齢化や運動機能障害の重症化が特徴的であった。年間の延べ参加者は588名であった。

#### 登録者および延べ参加数

|        | 登録者 | 延べ参加数 |
|--------|-----|-------|
| 2015年度 | 49  | 588   |
| 2014年度 | 53  | 455   |
| 2013年度 | 47  | 423   |

（表-11）

### 3. 宇城地域リハビリテーション広域支援センター

#### （熊本県委託・指定業務）

周辺地域の地域リハビリテーションの啓発・普及活動を主な目的とした宇城地域リハ広域支援センター活動は、年々地域に定着してきている。地域の事業所からの出張相談依頼も増え2015年度は過去最高の実施となった。また、地域ケア会議・地域包括ケアシステムにおける「通いの場」作り・公民館事業への協力など、熊本県や宇城市との地域リハビリテーション活動を通じた連携の強化に努めている。

#### 宇城地域リハビリテーション広域支援センター活動

|        | 研修会開催 | 地域連絡会 | 出張相談事業 |
|--------|-------|-------|--------|
| 2015年度 | 2     | 4     | 29     |
| 2014年度 | 2     | 3     | 13     |
| 2013年度 | 2     | 3     | 12     |
| 2012年度 | 3     | 2     | 8      |

（表-12）

### 4. 通所リハビリテーション事業

2016年6月の開設に向けて準備中。

#### （今後の課題 ～2016年度に向けて～）

医療事業（在宅復帰支援）において、これまで増加傾向であったリハビリ依頼件数は、2015年度初めて2014年度（前年度）を下回った。この要因としては当院における医師不足やリハ室の育児休暇者など組織・体制的な課題が考えられる。また周辺地域の高齢化、人口減少、都市部への医療需要度の偏りなどマクロ環境の影響を受けていることも考えられる。今後、医療事業計画・実施においては綿密なマーケティングやさらなる業務効率化が必要である。リハビリアウトカム評価では、在宅復帰率やFIM利得など一定の効果が得られていると言える。今後も地域住民の在宅復帰支援のために質の高いリハビリサービスの提供ができるように体制を整えていきたい。

介護・福祉事業（在宅生活継続支援）においては、地域包括ケアシステムの構築推進など、今後もそのニーズは高まると予測される。当院では、訪問リハビリ、介護予防・日常生活支援総合事業、宇城地域リハビリ広域支援センターに加え、2016年度6月通所リハビリ事業所の開設を予定している。

今後は、介護福祉事業のさらなる充実と、これらの医療事業との連携・融合により、当院周辺地域・医療介護福祉圏の地域リハビリテーション環境の整備に取り組んでいきたい。